

ポンプ場更新計画 改定概要

① 計画改定の背景および目的

1. ポンプ場更新計画策定から7年が経過
2. 一部のポンプ場で故障が発生し、緊急修繕を実施している現状
3. 現更新計画にて特に明記されていないポンプ場更新順位の決定



② 更新計画の改定

◆ 計画改定での検討課題

- ・緊急修繕実施状況や点検状況、健全度等を加味したポンプ場更新順位の改定

◆ 計画改定のフロー

1. ポンプの重要度を仕分け
2. 判断基準となる指標(既存計画の指標に新たな指標をプラス)
 - 1) 老朽化度.....設置からの経過年数
 - 2) 使用頻度.....運転稼働の頻度
 - 3) 浸水実績.....平成24年8月の浸水実績
 - 4) 流域人口.....大東市全人口に占める流域人口の割合
 - 5) 点検結果.....点検業務により判明した不具合の割合
 - 6) 健全度.....健全度調査の結果
 - 7) 環境要因.....ポンプ場周囲の状況等、特別な事由の有無



3. 上記7項目を一定の判断指標を定め点数化



4. 点数の合計値および重要度を基に、ポンプ場の更新順位を決定

③ ポンプ場更新計画(R5 改定版)

◆ 更新ポンプ場

更新計画による更新順位とポンプ場重要度を考慮して次の 16 箇所について更新を優先的に進める施設とした。

1. 深野第1ポンプ場 2. 深野第4ポンプ場 3. 深野北用排水機場 4. 三箇第9ポンプ場 5. 平野屋第1ポンプ場 6. 三箇第8ポンプ場 7. 明美の里第2ポンプ場 8. 新津の辺ポンプ場 9. 三箇第3ポンプ場 10. 御領ポンプ場 11. 銭屋川排水機場 12. 新田第1ポンプ場 13. 百合ヶ丘ポンプ場 14. 五軒堀川排水機場 15. 寺川ポンプ場 16. 御供田第7ポンプ場(←追加ポンプ場)

◆ 総事業費について

更新費用は、設計委託費・工事費等から概算費用を算出。

総事業費 10,853百万円

◆ 事業期間について

更新事業期間は、作業と費用の平準化を図るため、下記の期間とした。

2023年度から2072年度(49ヶ年)

④ 更新事業にあたっての留意点

◆ 適切な設備更新

単純な設備更新を行うのではなく、必要性や排水能力等を検証するなど、排水能力(安全性)と経済性を検討する。

◆ 更新計画の見直し(改定)

原則として5年ごとに見直す(改定)するものとする。ただし、緊急修繕等が発生した場合は、適宜対応するものとする。

◆ 特定財源の確保

事業費については、多大な費用を要すことから、交付金等の確保について最大限努める。

◆ ポンプ場更新における目標設計降雨強度の設定 (←追加項目)

大阪府の河川計画にて示されている寝屋川流域の当面の整備目標である降雨強度(30年確率:大阪府)をポンプ場更新における目標設計降雨強度とする。

